

校訓「叡智・健康・自治・共生」

- 教育目標
- 健康で自主性に富み、実行力のある生徒
  - ◎自由と責任を重んじ、規律ある生活を送る生徒
  - 仕事と勉強に打ち込む生徒
  - 自分や友達を大切にし、よい集団を育てる生徒
  - 国際的な視野をもち、人との共生を図る生徒

**A 豊かな心の醸成**

- ①全学級が年間を通じて、石西メソッドとローテーション道徳を取り入れた道徳授業を実施する。(思いやりの心や相手の身になって行動できる。)
- ②生徒会を中心として、いじめ問題について検討し、思いやりをテーマとした作品を制作する。(生徒会活動・学校行事などを通して、集団としての自主性や責任感を伸ばしている。)
- ③全教員が、集団としての規律の指導について共通理解する場を設定する。(時間を守り、話を聞く態度を素早く整えられる。場に応じた挨拶・言葉遣い・返事ができる。場に応じた服装として、バッチの着用、式服・体育着のきちんとした着こなしができる。)

**C 健康・体力の向上**

- ①生活記録等を通じて、全生徒への指導・助言を行う(望ましい生活習慣が定着している。)
- ②生徒一人一人が前年度の自己の記録を超えることを目標とした、体力テストを実施する。(基礎的な体力や運動に親しむ態度が向上している。)
- ③ポッチャの体験教室やパラリンピックコーチによる講演会を開催する。(障害者スポーツの体験・理解が深まっている。)
- ④感染症予防も含めた安全教育・防災教育を年間12回以上行う。(自ら危険を回避する能力が向上している。)

**【目指す教師像】**

生徒の心情を理解し、生徒の自己実現に向けて寄り添い、支援し続ける教師

- 誠実に職務に向き合う
- 生徒に共感的に寄り添う
- 自らの専門性と指導スキルを向上させる
- 多角的な視点をもち建設的に意見を述べる
- 社会の動向を注視し、学校経営に積極的に参画する
- 教育の充実のために創造的なアイデアに挑戦する
- 相互利益を目指し、多様な人材と協働する

**E 教員の資質・能力の向上**

- ①学校ホームページを週1回以上更新する。(学校ホームページや学年だより等による広報が適切に行われている。)
- ②学校整備日を年5回以上設定し、不要な物品について廃棄を進める。(ユニバーサルデザインに配慮した校内掲示物や教室環境の整備が行われている。)
- ③服務研修を年3回以上実施するとともに、校内の書類・データを確認し、不要な資料は廃棄を進める。(服務事故の防止、個人情報の管理がなされている。)
- ④自己の課題に応じた研修動画の視聴を平均2回以上、校内研修を10回以上実施する。(自ら研鑽し、専門性の向上・教師としての資質向上が図られている。)

**B 確かな学力の定着**

- ①1単位時間のねらいを週案に明記するとともに、生徒にも毎時間提示する。(ねらいが明確な授業が行われている。)
- ②言語活動の時間を全教科とも確保し、思考力を高める工夫を週案に記載する。(思考力・判断力・表現力を高める授業の工夫がされている。)
- ③自学自習を全校で実施し、各学年の実態に応じた家庭学習例を提示して進捗状況を確認する。(家庭学習の習慣が形成されている。)
- ④補充指導の場を設定し、個に応じた課題設定を行う。(補充指導や基礎・基本の確実な定着を図られている。)

**D すべての生徒に向けた支援**

- ①石神井西小学校、立野小学校、関町小学校との連携した、いじめ・不登校等についての検討を年間3回以上実施する。(小中学校の接続を意識した生徒指導・学習指導が実施されている。)
- ②関係諸機関、SSW、巡回指導教員、巡回心理士等の助言や意見のフィードバックを対象生徒の担任全員に対して実施する。(支援の必要な生徒に対し、関係機関と協力しながら計画的に対応している。)
- ③JRC委員会の取組や地域ボランティア活動等が年間10回以上実施する。(青少年赤十字活動を理解し、ボランティア活動・体験などを行い、社会に貢献しようとする意欲や態度を醸成されている。)